

| | |
|--------------|---|
| Title | 選択科目・初級会話の授業報告及び教材マニュアル : はじめの8週間で |
| Author(s) | 十川, 理絵 |
| Citation | 大阪外国語大学留学生日本語教育センター授業研究. 2004, 2, p. 65-82 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://doi.org/10.18910/5573 |
| rights | 本文データはCiNiiから複製したものである |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

選択科目・初級会話の授業報告及び教材マニュアル

— はじめの8週間で —

十川 理絵

【要旨】

筆者が担当した6カ月の研究留学生プログラム選択科目・初級会話の授業は、日本語学習歴が全くない、或いは殆どない者が対象である。そこで、学習者の心理的負担を軽減するために、必修科目・初級文法のテキスト『基本文型』の第8課が終了するまでは、その進度に合わせた授業をすることにした。第8課までで学習する(資料1)のは、日本語学習に必要な基礎知識である。これらの既習の基礎知識を有効に用いることができ、しかもテキストで学習しない意味や用法を持つ表現を筆者は、4種類提示することができる。本稿では、それら4種類の表現を学習するための教材及び指導マニュアルを提示し、授業報告とする。

1 はじめに

研究留学生プログラムでは、概ね17週の授業が行われている。その中で授業の中心となる必修科目・初級文法は、テキストである『基本文型』第8課の終了までは1課ごとの学習に時間をかける。大抵の場合、第1課から第8課(或いは9課)までを初めの8週間(或いは9週間)に費やし、第1回定期試験の後、残りの9週間(或いは8週間)で30課あるテキストを終了する。

第8課(或いは9課)が終了するまでには8週間もあるが、学生が日本語学習の基礎知識を習得するまで、指導できる文法項目や表現には限りがある。また、9課以降で学習する文法項目や表現を先に提出してしまうことは、基礎知識の学習と定着の障害となるので避けたい。そこで、文法知識を増やすためではなくコミュニケーション力を高めるために必要な表現で、一つの表現に様々な用法を含むものを選んで指導することにした。8回の授業で、ほぼ既修の文型に対応する形で指導することができた表現は4種類、17通りの用法となる。以下に4種類の表現とその指導時期及びその用法を掲示する。

〈表現1 どうですか/いかがですか〉

- I だい2か終了後 人・物・場所・事柄の印象や感想をたずねる用法
- II だい3か終了後 店員が商品を勧める時に用いる
- III だい4か終了後 食べ物や飲み物を勧める時に用いる
- IV だい4か終了後 [いっしょに どうですか] : 勧誘表現

〈表現2 どうしましたか〉

- V だい5か終了後 A 医者が患者に体の状態や気分についてたずねる時に用いる
B 異常事態を察して、体の状態や気分についてたずねる時に用いる
C 異常事態を察して、出来事についてたずねる時に用いる
- VI だい6か終了後 A 「なにをしますか」と同じ意味で用いる
B 「するか、しないか」行為の選択をうながす時に用いる

〈表現3 そうです〉

- VII だい7か終了後 A [そうです] : 名詞文の質問に対する肯定の回答(『基本文型』第1課で学習済み)

B [そうですよ] : 主張表現

C [そうですね] : ①相手に対する同意を表す用法

: ②相手の叙述を疑ったり、否定したりする用法

《表現4 でしょう》

VIII だい8か終了後 A相手に確認する時に用いる

B [~でしょうか] : 「~ですか」の婉曲表現

C相手への同情を表す用法

D推量・推測(注 SPテキストの第19課で学習)の用法

2 教材(ダイアログ・会話練習文)および指導マニュアル作成に当たり配慮した点

①ダイアログでは、初級文法テキスト『基本文型』及び当授業での既習文法事項を用いた文章の中に新しく学習する表現を提示する。

②会話練習では、できるだけ多くの既習語彙を使用する。

③生活に必要な語彙や表現、学生の実生活と直接関係のある語彙、学生が興味を持ちそうな語彙や表現を使用する。

④留学生と日本人との間で交わされる可能性の高い会話を想定し、取り入れる。

⑤日本人とのコミュニケーションを円滑にする表現や方法を教える。

⑥上記⑤に関連して、待遇表現を重視する。

⑦表現に表れる日本人の考え方や習慣について説明する。

⑧生活に必要な情報や学生が興味を持っていることについての情報を提供する。

(注)ダイアログはテキストとして学生に配布するので、固有名詞以外は平仮名書きにする。会話練習文も学生に配布する場合は同様である。またダイアログで使用する未習の語彙や表現は(新出語句・表現)として提示し、会話練習文では未習語彙にアンダーラインを引く。『初級文型練習問題』の語彙は未習と考える。

3 授業の進め方

学習する表現を含んだダイアログを学生に提示し、ダイアログに基づいて、その意味や用い方の説明を行い、次に会話練習を行う。

I Nは どうですか/いかがですか

指導時期 『基本文型』だい2か 終了後

日本じん：日本の せいかつは、 どうですか。

がくせい：たのしいです。

日本じん：日本ごの べんきょうは、 どうですか。

がくせい：おもしろいです。

日本じん：べんきょう、がんばってください。

がくせい：はい、ありがとうございます。

(新出語句・表現)

せいかつ たのしい

べんきょう おもしろい

がんばってください

ありがとうございます

指導事項

1 A : Nは どうですか。(丁寧な表現：いかがですか) --- B : Adjです。

[指導内容]

「Nはどうですか」は、人、物、場所、事柄について印象や感想を尋ねる時に用いる。導入に当たっては、2課(注1)で「～は どんなNですか」を学習していることを利用し、「Nはどうですか」がそれと同じ意味であることを示せばよい。

日常生活の中で、日本人が初対面の留学生に敬意を払って「いかがですか」と問いかけることも予想されるので、日本人の上下関係意識と対話相手によって表現を使い分けることを説明する。ここでは丁寧な表現と普通の表現の使い分けに止めておき、目上の人と知らない人に対して丁寧な表現を使うと教える。

(例文) (問い) ○○せんせいは どんな せんせいですか。=○○せんせいは どうですか。

(答え) しんせつな せんせいです。=しんせつです。

(問い) 箕面は どんな まちですか。=箕面は どうですか。

(答え) しずかな まちです。=しずかです。

(注1) 以後、初級文法テキスト『基本文型』の各課をこのように表示する

[会話練習] 2課で学習する形容詞だけでは(問い)に答えられないので、下記の形容詞およびその他のものを必要に応じて教える。

A: Nは どうですか/いかがですか。----- B: Adjです。

i-Adj くないです/くありません。

na-Adj ではありません。

① a 外大の (先生・日本人学生)

b 留学生センターの (建物・教室・図書室)

c 寮 (建物(注2)・部屋(注3))

d 日本の 女の人----- かわいいです。ブスです。

日本人の男の人----- ハンサムです。かっこいいです。

日本の食べ物----- おいしいです。まずいです。

e 奈良・京都・大阪・北千里・千里中央 (注4)

(注2) Rコースの学生はたいてい学内の寮に住んでいる。

(注3) 「(寮の部屋は) 小さいです」という返答があると思われるが、その時に「広いです-狭いです」を教える。

(注4) 導入で使用した「箕面」と比較することで学生たちの興味を刺激することができる。

② ダイアログにある「日本の生活はどうですか。」というのは、留学生が必ず受ける質問である。これに対して、成人である留学生は単純な回答をすることに躊躇を覚えると思うので、以下の3つを教える。

(答え) 楽しいです。 enjoyable

まあまあです。 So-so.

たいへんです。 Things are tough.

③ 「日本語の勉強はどうですか」というのも、留学生が必ず受ける質問である。

これに対する答えとしては、「むずかしいです・やさしいです」(2課で学習)以外に、「おもしろいです-つまらないです」を教える。そして「おもしろいです」については、interestingとfunnyの2つ意味があることも教える。

2 がんばってください。-----はい、ありがとうございます。

「がんばってください」或いは「がんばって・・・」は、留学生が初対面の日本人と話をした時、必ず言われるで言葉である。英語で直訳すると「persevere / try one's best / try hard」となるが、実際には、努力することを強く期待しているわけではなく、励ます意味で使われている。目標をもって努力している人に対する励ましのあいさつなので、「はい、ありがとうございます」と答える。

◆授業を終えて

指導事項1 - 会話練習②について

「日本の生活はどうか」に対する3通りの答え方を提示する前は、学生たちは「日本の生活は易しいです / 難しいです」と答えていた。また、「日本の生活は便利です」という答えもあった。

II Nは どうですか / いかがですか

指導時期 『基本文型』 だい3か 終了後

| |
|--|
| てんいん：いらっしゃいませ。 おきゃく：すみません、でんしじしょは どこに ありますか。 てんいん：こちらです。こちらのは いかがですか。 おきゃく：ちょっと おおきいです。 てんいん：では、そちらは いかがですか。 |
|--|

↓

↓

| |
|--|
| おきゃく：いいですね。いくらですか。 てんいん：8000円です。 おきゃく：これ、ください。 てんいん：どうも ありがとうございます。 |
|--|

| |
|---|
| おきゃく：それは ちょっと…。 てんいん：では、あちらは いかがですか。 |
|---|

(新出語句・表現)

てんいん おきゃく (注1) でんしじしょ (注2) こちら (注3) ちょっと (注4)
では ください、いらっしゃいませ すみません (注5) どうもありがとうございます (注6)

(注1) 「お名前は何ですか」「お国はどこですか」「ご専門は何ですか」など、名詞を丁寧表現にする「お」又は「ご」を留学生は既に耳にしていると思われるが、確認する。

(注2) 大抵の留学生は日本橋へ行くが、その時電子辞書を購入することが多い。

(注3) 「これ・それ・あれ / ここ・そこ・あそこ」(1課で学習)の丁寧表現。コミュニケーション力をつけることを目的とするこの授業では、日本語の待遇表現を意識させることが重要であると考え。

(注4) 意味は二つあり、一つは「少し」の意味である。もう一つは後で説明する。留学生は先生や事務員さんが、「ちょっとすみません」や「ちょっと待ってください」というのを何回か耳にしていると思われる。

(注5) たずねたいことなど、用字があって知らない人やあまり親しくない人、目上の人に話しかける時に用いる説明。授業中に質問がある時、はじめに「すみません」と言

うように教える。

(注6) 「どうも」と「ありがとう」、「ありがとう」と「ありがとうございます」などの違いを質問されることが予想できる。

指導事項

1 A: Nは いかがですか。(普通の表現: どうですか)

B: (肯定) いいですね。ください。 (否定) Nは ちょっと・・・。

[指導内容]

「Nはいかがですか」は買い物で、店員が商品を勧める時に用いる。店員にとって客は敬意を表す対象になるので「どうですか」を用いないことを説明する。

「Nはどうですか/いかがですか」が物についての印象や感想をたずねる意味であることは既に学習しているが、物を売る場合は、同時に購入を勧める意味で用いている。従って客は、商品が気に入れば「いいですね。ください」と答える。しかし商品が気に入らない時には「よくないです。No Thank you.」と言わずに「Nは ちょっと・・・」と答える。この場合の「ちょっと」は「少し」の意味ではないことを指摘し、誘いや申し出や勧めを断る場合の表現であることを教える。否定形を用いて意志を表すと相手の気分を害して、円滑なコミュニケーションをはかることがむずかしくなることも説明する。

また、「いいですね。」の「ね」であるが、あとの授業(Ⅷ)で学習するので、ここでは説明しない。

[会話練習] てんいん: こちらのでんしじしょは ① いかがですか。

おきやく: ちょっと おおきいです。②

① a 辞書・雑誌・時計・めがね・傘・冷蔵庫・ビール・果物・肉・りんご

b ⇒ NのNや Adj + N (例) 英語の雑誌・青いりんご (注7)

② 2課で学習した形容詞を使用することができる。

(例) 電子辞書 → 小さい・重い・高い

(注7) 色を表す「青」は実際に青いものだけでなく、緑のものにも使用される場合があることが話せる。

blue: 青い空・青い海

green: 青いりんご・青信号・青い山

◆授業を終えて

・ダイアログ「いいですね。」の「ね」について

運よく質問もせず、日本人との会話の中でよく耳にしているためか、感情を込めて「～ね」と言うことができていた。

・[会話練習] ① (注7) について

マレーシアの学生がよくスーパーで魚を買うことがわかったので、サバなど「青魚」と呼ばれるものの色について話が広がった。

Ⅲ Nは どうですか/いかがですか

指導時期 『基本文型』 だい4か終了後

・・・ピンポン (ベルを鳴らす音) ・・・
がくせい：リムです。
日本人：あ、リムさん。いらっしゃい。どうぞ。
日本人：コーヒーは いかがですか。



がくせい：ありがとうございます。
日本人：どうぞ。
がくせい：いただきます。
・・・おいしいです。
・・・ごちそうさまでした。

がくせい：いいえ、けっこうです。
コーヒーは、ちょっと・・・
日本人：では、おちゃは いかがですか。
がくせい：ありがとうございます。

(新出語句)

いらっしゃい どうぞ しつれいします (注1) いただきます ごちそうさまでした
けっこうです

(注1) 訪問先の家に入る時だけでなく、先生の部屋に入る時にも用いることを教える。

指導事項

- 1 A：Nは いかがですか。(普通の表現：Nは どうですか)
B：(肯定) ありがとうございます。(否定) いいえ、けっこうです。

[指導内容]

食べ物や飲み物を勧める表現とその答え方。断る時の言い方として、「結構です」のほかに「せっかくですが、結構です」と言う場合もあるが、「いいえ」を付けるだけで十分である。「いいえ」を付けて言わなければ不躰な印象を与えてしまうことを注意する。

[会話練習] A：① コーヒーは いかがですか。/ どうですか。

B：肯定：ありがとうございます。/ ありがとう。

否定：いいえ、けっこうです。① コーヒーは、ちょっと・・・

① a お茶・ビール・お酒・スープ・うどん・やきそば・パン・ごはん

b たばこ (マイルドセブン) (注2) c お好み焼き・たこ焼き (注3)

(注2) 吸っているたばこの銘柄をたずねたり、日本の銘柄を教えたりして話を広げ、会話の練習をすることができる。

(注3) 大阪の食べ物として紹介し、話を広げることもできる。

2 どうぞ

[指導内容]

日本語学習の初級者は人に物を手渡したり何かをあげたりする時、何も言わないまま行動する者が多いので、人に物を勧める時や許可を与える時に用いる「どうぞ」を教える。

[会話練習] 「どうぞ」を使う場面を設定する。

先生 : Aさん、ここへ。 (学生Aに椅子をすすめる)

先生 : どうぞ。 (椅子をすすめながら)

先生 : どうぞ。 (学生Aにキャンディーを大量に渡す)

学生A : ありがとうございます。

先生 : Aさんはいくつ食べますか。

Aさんはおいしいチョコレートをたくさん食べます。

(学生Aが他の学生達にチョコレートを配る状況へと誘導する)

学生A : どうぞ。 (一人一人にチョコレートを配りながら)

学生達 : ありがとう。

◆授業を終えて

・指導事項2「どうぞ」について

「どうぞよろしくお願いします。」を知っている学生がいたので、「どうぞ」は丁寧に依頼するとき用いる場合があることも説明した。

IV ~、いっしょに どうですか/いかがですか。

指導時期 『基本文型』だい4か 終了後

A : リムさん。

リム : なんですか。

A : あした、かいもの、いっしょに どうですか。



リム : いいですね。どこへ いきますか。

A : 千里中央へ いきます。

リム : Aさんは なにを かいますか。

A : しょうせつを かいます。

リム : なんじに いきますか。

A : 3じに いきます。

リム : いいですね。わたしも いきます。

リム : あしたは、ちょっと・・・

A : だめですか。

リム : あしたは、ようじが あります。

A : そうですか。じゃ、また こんど。

(新出語句・表現)

なんですか (注1) かいもの いっしょに だめです ようじ じゃ

そうですか (注2) またこんど

(注1) 「(用事は) なんですか」の意味である。名前を呼ばれて返事をする時、「はい」以外の言い方があることを教える。但し、先生など目上の人に対しては、まず「はい」と答えてから用いるように指導する。

(注2) 日本人との会話で何度も耳にしていると思われる。後の授業(Ⅶ)で学習するので、「I see.」と訳しておく。

指導事項

1 ~、いっしょに どうですか。(丁寧な表現: ~、いっしょに いかがですか。)

[指導内容]

「一緒にどこかへ行くこと」あるいは「一緒に何かをしに行くこと」を勧誘する表現として指導する。「いしょに どうですか」に先行する助詞、方向の「へ」や目的の「に」(6課で学習)は学生の負担を少なくするため省略して提示する。

勧誘表現の学習は留学生にとって必要性が高いと思われるが、「～ましょう」は9課、「いっしょに～ませんか」は26課まで学習しない。本授業では、『基本文型』の学習項目と重複して教えることを避けたいため「～ましょう」は教えない。また、動詞の否定形は4課で初めて学習するため、4課終了後すぐに「～ませんか」を勧誘の意味として教えると学生を混乱させるのではないかと考える。

[会話練習]

A: あした、かいもの、いっしょに どうですか/いかがですか。
①

B: (肯定) いいですね。 (否定) あしたは、ちょっと・・・

①a 晩ご飯・昼ご飯・朝ご飯・映画

b 図書館・スーパー・喫茶店・食堂 (5課で学習)

② 今日・今日の朝/昼/晩/午後・明日・明日の/朝/昼/晩/午後

2 ~が あります。

3課では存在の「あります」しかがくしゅうしないので、所有の「あります」に属する「用事があります」「約束があります」を教える。

◆授業を終えて

・ダイアログの新出語句 (注2) 「そうですか」について

ダイアログを暗記させて会話練習すると、「そうですね」と言う学生もいたが、「そうですね」は「I see.」の意味ではないことを注意するにとどめた。

V どうしましたか

指導時期 『基本文型』 だい5か終了後

指導事項

1 どうしましたか。

[指導内容]

以下の3つの用法について指導する。

A 医者が患者に、体の状態や気分についてたずねる時に用いる

B 異常事態を察して、体の状態や気分についてたずねる時に用いる

C 異常事態を察して、出来事について何があったかたずねる時に用いる

[ダイアログと会話練習]

A

| |
|--|
| おいしゃさん：どうしましたか。 がくせい : <u>おなか</u> が いたいです。 ① |
|--|

(新出語句) おなか が いたいです (注1)

(注1) 「N1は N2が Adj」は15課で学習する。学生には文法的な詳しい説明はせず、「～が痛い」をひとまとまりの表現として掲示する。

① a ここ・そこ

b 頭・のど・手・足・目・鼻・耳・口・体 (注2)

c ~の/上・下・右・左・中・外・前・後ろ (例: 口の中)

d 気分が悪いです・(体が) 熱いです/寒いです

e 熱があります

(注2) 体の部位の名称は学生の要求にしたがって、提示する。

B

リム : す・み・ま・せ・ん、せんせい。

せんせい: リムさん、どうしましたか。

リム : きのう、やきそばを たくさん たべました。

①

②

おなか が いたいです。

③

せんせい: だいじょうぶですか。りょうへ かえりますか。

リム : はい。

せんせい: じゃ、どうぞ おだいじに・・

(新出語句) だいじょうぶです おだいじに

① 昨日の晩・ゆうべ

② a ~を (たくさん/少しだけ) / AやBやCなどを 食べました/飲みました

b ~時に 寝ました/起きました

c あまり 寝ませんでした/食べませんでした

d 何も 食べませんでした/飲みませんでした

e ~を (たくさん) 見ました/聞きました/読みました/書きました/勉強しました

③ ダイアログAの会話練習①で学習したa~e

C

テレビや新聞・雑誌の写真を見ながら

にほんじん: あ、たいへんです。

がくせい : これ、 どうしましたか。

にほんじん: きのう/ゆうべ _____。

①

(新出語句) たいへんです

① 《地震の映像/写真》 ~で、地震がありました。(注3)

《事故の映像/写真》 ~で、(電車/飛行機/バス)の事故がありました。

《火事の映像/写真》 ~で、火事がありました。

《テロの現場の映像/写真》 ~で、テロがありました。

《台風の被害現場の映像/写真》 ~に、台風が来ました。(注4)

(注3) 存在の「ある」(3課で学習)に先行する助詞は「に」(場所を示す)であるが、ここでは行為作用が行われることを意味する「ある」を教える。この場合、場所を表す助詞が「で」であることを注意する。

(注4) 到着点を表す「に」であるが、詳しくは説明しない。

◆授業を終えて

・ダイアログCの会話練習について

生教材として、ニューヨークのWTCビルへのテロ攻撃の写真、阪神・淡路大震災の写真などを利用した。学生がテロよりも地震に興味を示したのは予想外だったが、話を広げることができた。

VI どうしますか。

指導時期 『基本文型』 だい6か 終了後

指導事項

1 Nは どうしますか。

[指導内容]

以下の3つの用法について指導する。

A 人は どうしますか-「何をしますか」と同じ意味。

B 行為 はどうしますか

人は行為、どうしますか-人が行為を「するか、しないか」の選択を促す

C 物事は どうしますか-問われている内容は、「だれ/いつ/どこ/なに~か」の中のどれかで、使用された状況により判断する。

[ダイアログと会話練習]

A

A: きょうは いい天気ですね。Bさんは どうしますか。

①

B: こうえんへ しゃしんを とりに いきます。

②

(注1)

①a 明日は いい天気です。

b 今日/明日は いい天気ではありません/雨です。(7課で学習)

c 明日は土曜日/日曜日/休み/です。 d 今日/明日は ひまです。

②既習の語句をいろいろ使って答える。

B

A: あめですね。 きょうのジョギングは どうしますか。

①

B: あめですが、します。Cさんは ジョギング、どうしますか。

C: あめですから、わたしは やめます。

(注2)

(新出語句) ジョギング やめます

(注1・2) 終助詞の「ね」は次の授業(VII)で学習するが、授業IIの時学生が違和感なしに使用していたので、ダイアログに入れた。

①a 曇りですね。今日/明日の散歩はどうしますか。

(答えの例) B: 曇りですが、します。

C: 曇りですから、私はしません/やめます。

b 今日暑かったですね。お風呂/シャワーはどうしますか。

(答えの例) B: 暑かったです、入りません/やめます。

C: 暑かったですから、私は入ります。

c ケンタッキーへ行きます。バスはどうしますか。

(答えの例) B: ケンタッキーは遠いですが、乗りません。
歩いて行きます。

C: ケンタッキーは遠いですから、私は乗ります。

d 先生の部屋へ行きます。エレベーターはどうしますか。

(答えの例) B: 先生の部屋は4階ですが、乗りません。

C: 先生の部屋は4階ですから、私は乗ります。

e 北千里へ買い物に行きます。銀行はどうしますか。

(答えの例) B: あまりお金がありませんが、行きません。

C: お金がありますから、私は行きません。

f きれいな女の人があります。写真は どうしますか。

(答えの例) B: . . . 撮ります。

C: . . . 撮りません。

C

A: もう 1 じです。ひるごはんは どうしますか。

B: りょうで つくります。

①

A: そうですか。

① ① 食堂へ行きます・2時に食べます・パンを買います

・友達といしょに食べます (注2)

(注2) 助詞「と」は未習であるが、IVで「いっしょに」を学習している。

◆授業を終えて

・ Cについて

会話練習として置き換え練習をただけであるが、練習が不十分だと感じた。

Ⅶ そうです

指導時期 『基本文型』 だい7か 終了後

指導事項

あいづち A: そうです。 B: そうですよ。(終助詞「よ」)

C: そうですね。(終助詞「ね」) D: そうですか。

日本人の会話にあいづちが欠かせないものであることを説明する。あいづちは、聞き手が相手の話に関心を持って聞いているという証拠である。したがってあいづちがないと、話し手は自分の話が相手に伝わっていないのではないかと不安になる。また、話し手はあいづちによって相手の反応を確認しながら話を展開させて行く。したがってあいづちがないと、話は先に進まない。留学生が日本人と話す場合、日本語学習歴が短い学生は話の聞き手となることが多い。日本人との間に楽しいコミュニケーションを成立させるために、あいづちの学習は必要であると考えられる。

A

J: きょうは いいてんき ですか。 S: はい、そうです。

J: きんのうも いいてんき でしたか。 S: はい、そうでした。

[指導内容]

既に1課で学習しているが、名詞文の質問に答えるときの肯定の返事が「そうです」で

あり、形容詞文や動詞文での場合は異なることを確認する。

- (例) ・日本語はむずかしいですか。-----はい、むずかしいです。
・外大の先生は親切ですか。-----はい、親切です。
・ホーさんはたばこを吸いますか。----はい、吸います。

B

| | |
|----------------------------------|--------------|
| (カンボジアの絵葉書を見ながら) | |
| J: これはどこの絵葉書ですか……。カンボジアですか、ホーさん。 | |
| S: ええ、そうです。 | S: ええ、そうですよ。 |
| J: …… | J: これはなんですか。 |

(新出語句) ええ (注1「はい」の話しことばを教える)

[指導内容]

名詞文の質問なので、学生は、「はい、そうです」と答える。そこで、会話では、聞き手に聞き手の知らない情報を与える時や自分の主張を伝えたい時には文末に「よ」を付けることを教える。但し、相手に新情報を教えていることを強調する「よ」は傲慢に聞こえることもあるので、目上の人や親しくない人に対しては多用しない方がいいことを説明する。

(例) 《ⅥのダイアログB》

A: 雨ですね。きょうのジョギングはどうしますか。

B: 雨ですが、しますよ。

《バス停で》

Y: こんにちは、ハンさん。「まるやす」へ行きますか。

Z: いいえ、今日「まるやす」は休みですよ。(注2「まるやす」は外大の近くのスーパー)

C-①

| | |
|--------------------------------|------------|
| A: きょうは いいてんき ですね。----- | B: そうですね。ノ |
| A: きょうも いいてんき でしたね。----- | B: そうですね。ノ |
| A: えいがのタイタニックは いいですね。----- | B: そうですね。ノ |
| A: きょう タイタニックを みましたか。よかったですね。- | B: そうですね。ノ |
| A: まいばん あめが ふりますね。----- | B: そうですね。ノ |
| A: ゆうべ たくさん あめがふりましたね。----- | B: そうですね。ノ |
| (だい9か) | |
| A: レポートを かなければなりません。----- | B: そうですね。ノ |
| A: はやく ねたほうがいいです。----- | B: そうですね。ノ |
| A: ビールを のみましょうか。----- | B: そうですね。ノ |

(新出語句) タイタニック

[指導内容]

話し手は、聞き手が自分の述べることに同意することを期待して文末に「ね」をつける。そこで聞き手も、話し手に同意する時は上昇のイントネーションを伴って「そうですね。」と答える。名詞文に対してだけでなく、形容詞文や動詞文、その他ムードを伴う文に対する同意の返答としても用いることができる。また、過去形の文に対して、話し手が今その場で言っていることに同意するという意味で、「そうですね。」と現在形で答える。

また、話し手は自分の感慨や感動を文末の「ね」で表すこともある。特に聞き手に同意を求めているわけではない。

(例) 《Ⅱのダイアログ》 店員：そちらは、いかがですか。 お客：いいですね。ノ

《ⅥのAのダイアログ》 A：きょうはいいてんきですね。ノ

《ⅥのBのダイアログ》 A：あめですね。ノ

[関連事項]

聞き手が自分も知っていることを、もう一度確認するために用いる「ね」もある。この場合は同意が求められているのではなく質問を受けているのであるから「そうですね」と答えず、名詞文に対しては「そうですよ」、他の文に対しては「ええ、Vよ」と答える。

(例) ・あしたの大学は休みですね。ノ――ええ、そうですよ。

・もう銀行はあいていますね。ノ――ええ、あいていますよ。

・山本先生を知っていますね。ノ――ええ、知っていますよ。

C-②

A：きょうは いいてんきです。Bさんは どうしますか。

B：そうですね……。こうえんへ ジャパンを とりに いきます。

Y：にほんごのべんきょうは どうですか。

Z：そうですね……。むずかしいですが、たのしいです。

[指導する内容]

質問に対して、答えを出すために考えていることを表す。この場合も上昇のイントネーションを伴うが、「ね」は長音になることが多い。

D-①

S：すみません。この しんかんせんは東京へ いきますか。

J：東京ですか。この しんかんせんではありませんよ。あの しんかんせんです。

S：そうですか。ㄨ (①) ありがとうございます。

J：りょこうですか。

S：ええ、そうです。(「そうですよ」はよくない)

J：わたしも このまえのにちようび 東京へいきました。

S：そうですか。ㄨ (②)

J：東京まで 4時間かかりました。

S：えー、 そうですか。ㄨ (③) とおいですね。

J：そうですね。「こだま」で いましたから。

(新出語句) とおいです。「こだま」

[指導内容]

上昇のイントネーションを伴わず、「そうですかㄨ」となる。話し手によって新しい情報を手に入れた聞き手が、「あなたの話を聞きました」と知らせるために用い、会話を次へ進めるためのあいづちとなる。(①②)「そうですか」には与えられた情報に対する聞き手の関心の程度や聞き手の感慨が微妙に語調に反映されるが、それを一般化するのは難しい。但し、驚きや感嘆の感情をいただいた場合 (③) は「そう」を強調したイントネーションになる事が多い。

D-②

A：えいがのマトリックスは よかったですね。――――B：そうですか。ノ

(新出語句) マトリックス

[指導内容]

同意を表す「そうですね」と反対で、話し手が述べることに賛成できない時に用いる。「そうですかノ」と上昇のイントネーションを伴うが、相手との討論を望むのでなければ、

「か」は強く発音せず、中上昇にとどめる。

[会話練習]

A: えいがのマトリックス、見ましたか。よかったですね。

B: (同意) そうですね。

B: (不同意) そうですか。↗

キアヌ リーズはカッコいいです。 長いですから、疲れました。

[A~Dの会話練習] 教師が話し手となり、「そうです・そうですよ・そうですね (2種類)

・そうですか (2種類)」を用いた返答をさせる。(注3)

T: 今日は暑いですね。 S: そうですね。↗

T: 明日も授業がありますか。 S: いいえ。

T: 明日から旅行ですか。 S: はい、そうです。

T: 私は行きません。仕事です。 S: そうですか。↘

T: 電車で 行きますか。バスで行きますか。 S: バスでいきます。

T: バスの旅行はつまらないですね。 S: そうですか。↗ バスの旅行は便利ですよ。

T: アイさん、バスの旅行は つまらないですね。 S: そうですね。・・・ よくわかりません。

T: どこへ 旅行に いきますか。 S: トヨタの工場です。(明治村・温泉)

T: トヨタ? ああ、自動車の会社ですね。 S: ええ、そうですよ。

T: いいですね。トヨタの車は有名です。

T: トヨタは初め 自動織機 (automatic loom) の会社でしたよ。 S: へー、そうですか。

(注3) 学生は5月22・23日、愛知方面へ旅行へ行くので、そのことを会話練習の話題とした。

◆授業を終えて

日本人とのコミュニケーションを円滑に進めることを目的とする学習であるが、不適切な言葉を使用した時は関係を著しくそこなってしまう。正しく用いることができるようになるにはもっと多く練習する必要があると感じた。

Ⅶ ~でしょう

指導時期 『基本文型』だい8か 終了後

T: オンデイルさん、きのう マリアさんと いっしょに

ケンタッキーで ばんごはんを たべた でしょう。↗ (A)

O: ええ、せんせいのくるまで きましたね。ありがとうございました。

T: わたしは きのう いそがしかったですから、いっしょに たべませんでした。

きょうのばんごはん、いっしょに どう でしょう。(B)

O: いいですね。

T: またケンタッキーへ いきますか。

O: そうですね・・・。

T: きのう ケンタッキーから バスで かえりましたか。

O: いいえ、バスにのらないで あるいて かえりました。

T: えー、つかれた でしょう。↘ (C)

O: マリアさんもわたしも だいじょうぶですが、

マリアさんは また おなかですいた でしょう。(D)

新出語句 いそがしい つかれる おなかがすく

指導要項

1 ~でしょう

A 昨日マリアさんとケンタッキーで晩ご飯を食べた でしょう。ノ

[指導内容]

話し手が自分も知っていることを相手に確認するために用いる。いわゆる確認の「ね」と同じ用法である。上昇のイントネーションを伴うことに注意。

[会話練習] 教師が質問し、学生は「そうですよ。」で答える。

T: マリアさんは、このクラスではないでしょう。ノ S: ええ、そうですよ。

T: マリアさんはタイ人でしょう。ノ S: いいえ、ちがいますよ。

T: ケンタッキーまで歩きます。遠いでしょう。ノ S: ええ、そうですね

《Ⅶ・3の関連事項》

T: あした大学は休みでしょう。ノ S: いいえ、ちがいますよ。

T: もう銀行はあいているでしょう。ノ S: ええ、あいていますよ。

T: 山本先生を知っているでしょう。ノ S: ええ、知っていますよ。

[注意事項]

A: ぼくの新しい車、いい車でしょう。

B: ええ、そうですね。

上記のように、同意を求める時に用いる場合もあり、この場合も上昇のイントネーションを伴う。答える時は「ええ、そうですよ。」と言うことはできない。

(例) ・映画のタイタニック、おもしろかったでしょう。---そうですね。ノ

・昨日のパーティー、楽しかったでそしょう。-----そうですね。ノ

・マリアさん、たくさん食べるでしょう。-----そうですね。ノ

B ばんごはん、いっしょにどう でしょうか。

[指導内容]

名詞文・形容詞文の疑問文「~ですか」の婉曲表現として用いられる。相手に質問する時、「~ですか?」と尋ねるより「~でしょうか?」の方が丁寧でソフトな印象を与える。

「いっしょに どうですか/いかがですか」より「いっしょに どうでしょうか/いかがでしょうか」と言うほうが、肯定の返答を強制しないソフトな言い方であることを説明する。

[会話練習]

(大学で) A: 千里中央でバーゲンが始まったでしょう。(注1)

B: そうですか。いつまで→でしょうか。

A: 10日までですよ。

(千里中央で) B: わたしはTシャツを買います。いい店はどこ→でしょうか。

A: あそこがいいですよ。

(店で) B: このTシャツはきれいですね。これを買います。

すみません、これはいくら→でしょうか。

てんいん：980円です。

A：安いですね。

B：そうですね。

(注1) 7月から夏物のバーゲンが始まるという情報やバーゲンでは定価の2割引きから始まり8月半ばに5割引きになるという情報を提供することができる。

C つかれた でしょう。

[指導内容]

相手の気持ちや相手が置かれた状況を思いやって、同情する時の表現で下降のイントネーションを伴う。感情や感覚を表す言葉とともに用いる。

ダイアログの「つかれたでしょう」は、「バスに乗らないで歩いて帰りましたから、あなたは、疲れました。わたしはあなたがかわいそうです。」という同情の意味になることを説明する。

[会話練習] まず、感情や感覚を表す言葉を提示し、それらを用いた返答をするように指示する。

(感情・感覚を表す語句) つまらない・たいへんだ・悲しい・寂しい・怖い・困った (注2)

(肉体的感覚を表す語句) まずい・暑い・寒い・痛い・疲れた・おなかがすいた

・のどがかわいた (注2) (注2) 状態を表すとき動詞は過去形

①A：今日、お金を忘れました。

ポケットの中にお金がありませんでした。B：困ったでしょう。↘

A：バスに乗らないで、歩いて来ました。

北千里から外大まで1時間かかりました。B：疲れた／大変だった／暑かった

／喉が渴いた でしょう。↘ (注3)

(注3) 「おなかがすいたでしょう」はDの用法の例に使用しているので、使わせないように教師が誘導すること。

②A：日曜日、寮にだれもいませんでした。

一人でした。

B：寂しかったでしょう。↘

A：寮にテレビがありません。

B：つまらなかったでしょう。↘

A：夜、だれも帰って来ませんでした。

B：心配だったでしょう。↘

A：雨が降っていました。

B：怖かったでしょう。↘

A：一人で晩ご飯を食べました。

B：まずかったでしょう。↘

D おなかがすいた でしょう。

[指導内容]

19課で学習することを告げ、詳しい説明はせずに例を2、3示し、推量 (the speaker's inference) と教える程度にとどめる。

ケンタッキーで晩ご飯を食べてから、マリアさんは30分歩きましたから、T (先生) は「マリアさんはまたおなかがすいた」と推量した。

(例) ・オンディムさんはきのうケンタッキーへ行きました。

ケンタッキーのチキンが好きですから、今日も行く→でしょう。

・今日も新しい日本語をたくさん覚えました。

○○さんは、忘れ→ないでしょう。

○○さんは、忘れ→るでしょう。

◆授業を終えて

・ダイアログについて

実際に、学生を小野原交差点にあるケンタッキーまで送っているということがあったのでこのような内容となった。ダイアログや会話練習に学生の実生活を取り入れることで、学生は、学習する日本語の表現を実用可能な身近なものと感じてくれたように思う。

資料1 『基本文型』 だい1か～だい8か 学習項目

だい1か：・～は Nです/Nではありません/Nですか

・NのN

・～は なんですか/どこですか/だれですか

だい2か：・i-Adj/na-Adj+N

・～は Adjです/i-Adjくないです/i-Adjありません/

na-Adjではありません/Adjですか

・～は どんなNですか

だい3か：・～に ～が あります/います

・いくつ/なんにん/なんさつ/なんほん/なんまい/なんだい/いくら

だい4か：・～を Vます/Vません/Vますか

・～を/～へ/～に/～で/～から/～まで Vます

・～に ～を Vます

・そして/それから/しかし

だい5か：・Vしました/Vませんでした/Vましたか

・～に/～を Vます

・～で Vます

だい6か：・～は Nでした/i-Adjかったです/na-Adjでした

・～は Nではありませんでした/i-Adjなかったです/

i-Adjありませんでした/na-Adjではありませんでした

・～と Vます

・Vに いきます/きます

・Nです/Adjです/Vます が、～

・Nです/Adjです/Vます から、～

だい7か：・いま Vています

・もう Vましたか -はい、もう Vました

-いいえ、まだ Vていません

・まだ Vていますか -はい、まだ Vています

-いいえ、もう Vていません

・Vて、Vて、Vます

・ Vたり、Vたり、Vます

だい8か：・ ~V / Adj / ~N (Plain style)

・ Vまえに / Vてから / Vないで

(そがわ りえ 本センター非常勤講師)